

北九州エコタウン事業から展望する 今後の環境ビジネス戦略

～地球益と国益の両立を目指して～

平成21年7月15日
日鐵運輸株式会社
常務取締役 川崎 順一

目次

1. 北九州エコタウンの経験から学んだもの
 - ・ 価値観の共有化(同志との出会い)
 - ・ 夢と情熱と執念による真の産学官民連携の妙
 - ・ 強烈なリーダーシップ
2. 今後の環境ビジネスの展望と戦略
 - ① 『人・もの・金・情報・時間』の最適配分と連携
 - ② 東アジア環境ビジネス事情と日本のアジア戦略
(部分最適解から全体最適解へ想念転換・実践)



北九州エコタウン事業の背景と経緯

①何故北九州市か？

- ・ 産学官民で公害を克服してきた歴史
- ・ 蓄積された環境技術、人材の育成
- ・ KITAの環境国際協力
- ・ 行政(市長)の熱意とリーダーシップ

②都市づくりのビジョンの明確化

- ・ 「北九州ルネッサンス」構想 (第三次:平成11～15年)
- ・ 「アジェンダ21北九州」策定 (平成8年3月)
- ・ 「響灘開発基本計画」策定 (平成8年3月)
- ・ 「北九州環境産業推進会議」設置(平成9年8月)
- ・ 「北九州エコタウンプラン」策定(平成10年4月)

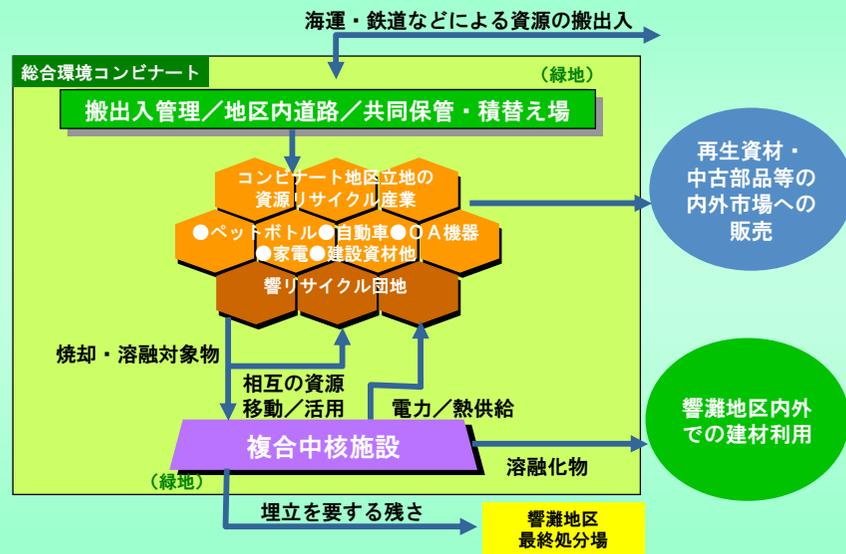
※経済産業省のエコタウン事業の第一号指定地域(平成9年7月)

北九州市の環境産業振興の戦略

基礎研究から技術開発・実証研究・事業化に至るまでの総合的展開



総合環境コンビナート概念図



エコタウン事業から学んだ点

- 土俵の共有化(各主体の価値観の共有化)の重要性
 - * 利益先行でなく“理念”先行で！！
- 人(同志)の出会い: 夢・情熱・執念・連携の妙
- コンセプトの明確化とアクションプラン実践(P・D・C・A)
- (市長の)強烈なリーダーシップ
- <循環型社会構築への指針>
 - ~今在るものを活用して、未だ存在しないものを創出する活動~

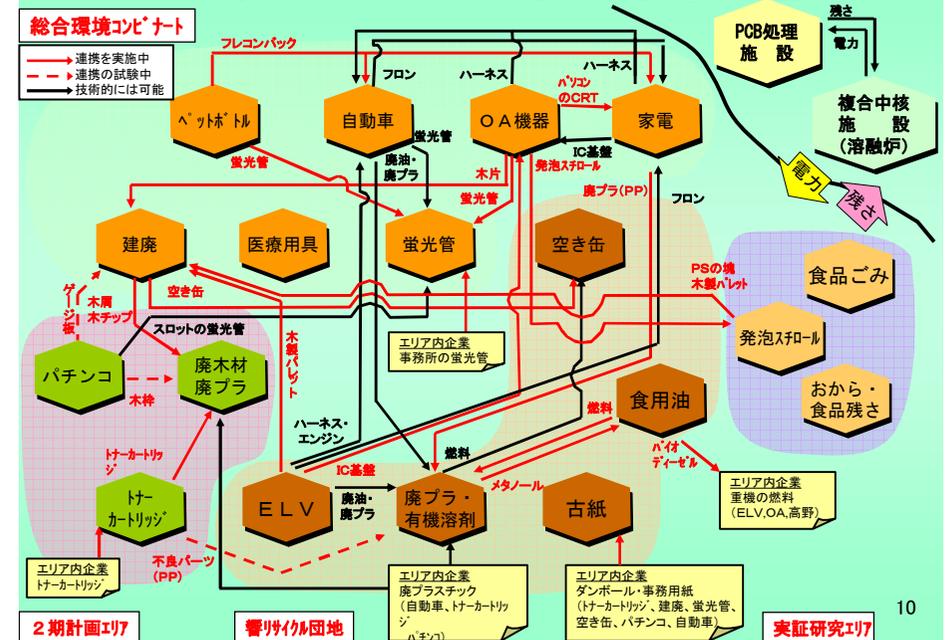
北九州エコタウンの意義

- 地域特性(地相)を生かした活性化対策としてリサイクル産業集積を成功させた。(真の産学官民の連携を具現化)
- 静脈資本・技術・人財(材)の蓄積にも成功。
- 九州の静脈産業基地。効率的な静脈物流の確保にも成功しつつある。
- 東アジア圏域諸国・地域における循環資源の重要なゲートである。

「集積」から「連携」へ①

- エコタウンエリア内の企業連携
- 北九州市内の企業連携
~エコ・コンビナート構想~
- K-RIPとの連携(九州エリアvs全国)
- * 動脈・静脈一体化システムの構築/既存物流インフラの共有化/輸送モードの最適化とITとの融合等
- * 産×産、学×学、産×学×官×民の連携等

北九州エコタウンにおける相互連携



物流連携~今あるものの有効活用~

- エコタウン内連携:
 - ①エリア内物流効率化(原料及び製品倉庫の共有化) ~車両ミニマム・移動距離ミニマム・管理スタッフミニマム= エリア内最適化プラン
- 都市間連携: 物流インフラの共有化(港湾・鉄道等)
 - ①各都市の特徴を活かし、あらゆる物流モードを駆使した循環資源の都市間移動と産業活性化策の推進
 - ②日本国内エリアの最適化: 全国レベルでのCO2削減効果の評価システムの確立

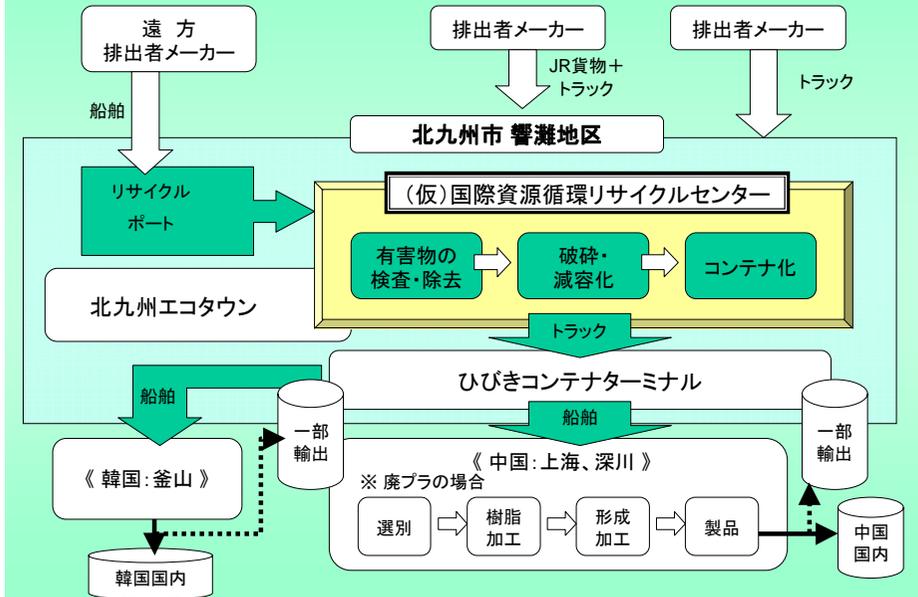
北九州市リサイクルポート整備エリア



「集積」から「連携」へ②

- ・**集積**: ①国家としての経営資源(人・もの・金・情報・時間)の最適化
 - ②各業界団体としての経営資源の最適化
 - ③地方自治体としての経営資源の最適化
- ・**連携**: ①産・学・官・民の真の連携(産&産、学&学、産&学、産&官、産&学&官、産&学&官&民)
 - ②都市間連携(国内・国際)
 - ③**国際資源循環(東アジア圏)**

国際資源循環モデル(北九州地区の例)



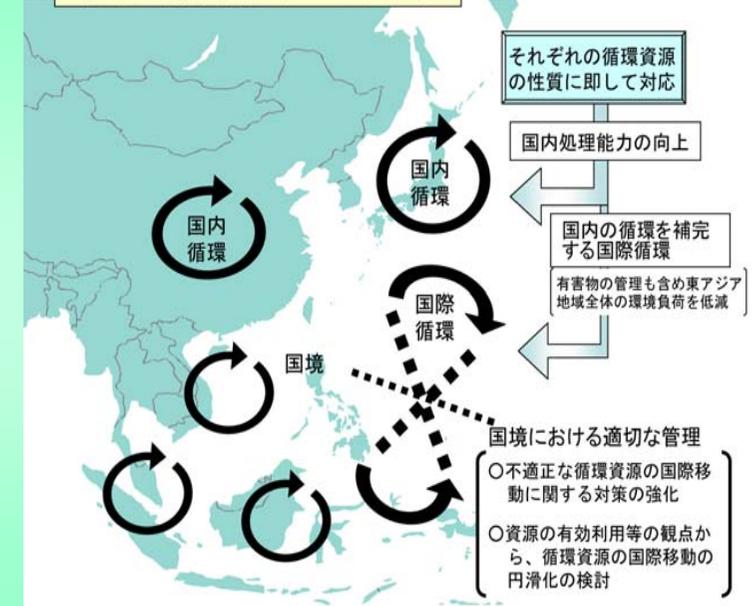
国際資源循環の基本的な考え方

～ 環境汚染の防止は資源有効活用の大前提～

“地球益”と国益の両立

- ①各国国内の廃棄物の適正処分や3Rの推進能力の向上が最優先
- ②循環資源の不法な輸出入の防止が不可欠
～透明な静脈フローの確立”見える化”～
循環資源等のトレーサビリティの向上:
(ICタグ・GPS等の活用・国際認証機関の設置等)
- ③国外で環境負荷の低減や資源の有効活用に資する場合は、循環資源の国際的な移動を円滑に推進

東アジア循環型社会ビジョンのイメージ

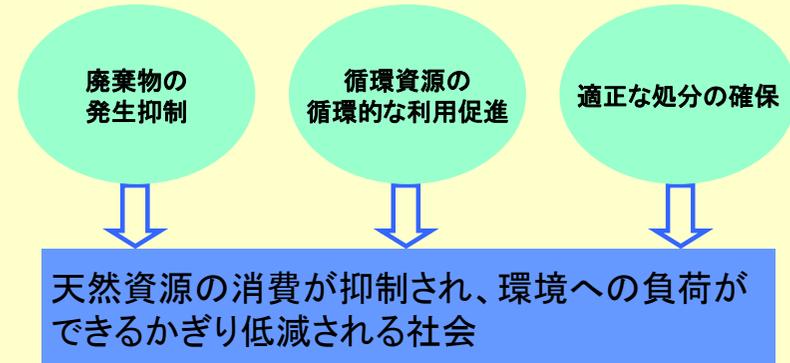


東アジア圏の循環型社会構築に向けた 今後の日本のリーダーシップ

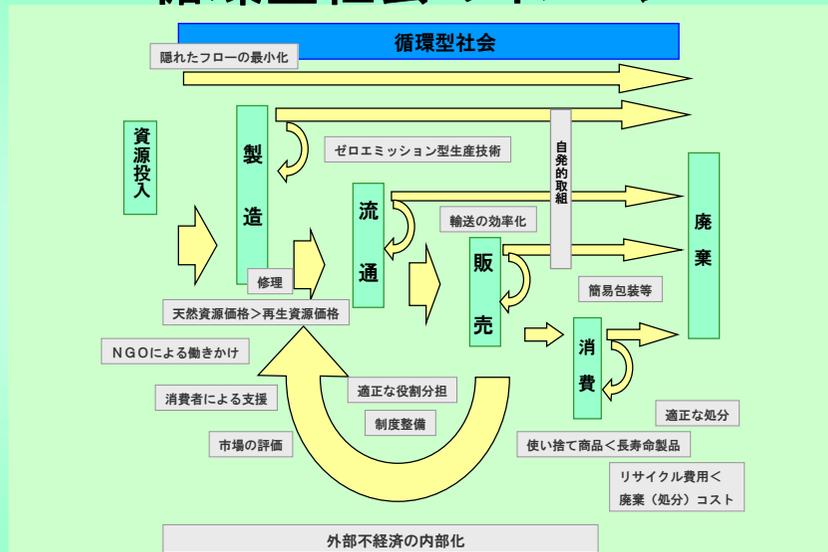
- 途上国等の処理能力向上に向けた制度・人材の強化・充実
 - ・政策対話の実施や計画策定支援
 - ・知識・技術基盤の整備支援(能力開発を含む)等
- 不法輸出入の防止に向けた取組の充実
 - ・循環資源の国際移動を巡る現状把握と分析の高度化
 - ・トレーサビリティとアジアネットワークの充実等
- 循環資源の国際的な移動の円滑化
 - ・アジア共通の有害廃棄物のデータベースの構築等

循環型社会とは？

循環型社会形成推進基本法



循環型社会のイメージ



(資料)平成13年度版 循環型社会白書より作成

車の両輪

持続可能な経済発展

